

学校だより 第17号

平成31年(西暦2019年)3月12日 津市立榊原小学校

「教育活動に関するアンケート」(保護者)の集計結果について

3月に入り、花の便りが聞かれるようになり、春の予感を感じます。6年生は卒業まであと残りわずかになってきました。卒業式にむけての練習が始まっていますが、小学校での最後の学校生活も楽しんでいるようです。

さて、2学期末に行いました保護者アンケートには、ご協力をいただきありがとうございました。集計結果をお知らせします。2月22日(金)に、学校評議員、PTA本部役員、幼稚園長と本校職員で学校関係者評価委員会を開催し、この結果をお伝えしました。子どもたちのアンケート結果と教職員による学校評価、学校経営の改革方針も合わせてお伝えして、本年度の反省を行い、次年度へ向けての取組について、たくさんのご意見をいただきました。



ptm.jp - 9563379

H30 保護者アンケート集計結果(パーセント)



保護者アンケート集計結果(割合:パーセント)観点別集計(評価する、評価しない、わからない)

[1そう思う 2だいたいそう思う 3あまりそう思わない 4そう思わない 5わからない]

	質問内容	1+2	3+4	5
1	子どもの個性やよさが伸びてきている	84.8	10.9	4.3
2	学校の教育方針や教育活動についてよくわかる	73.9	26.1	0.0
3	子どもは地域のことをよく学習している	89.1	10.9	0.0
4	家庭や地域にいて、必要な学校の情報がよくわかる	80.4	17.4	2.2
5	子どもの学校での様子がわかり、必要なときに相談できる	82.6	15.2	2.2
6	保護者や地域の意見・要望が学校に伝わっている	69.6	21.7	8.7
7	子どもは授業内容を理解している	87.0	13.0	0.0
8	子どもは学校に楽しく通っている	91.3	6.5	2.2
9	子どもはいじめが起きないように互いのことを考えて生活している	87.0	10.9	2.2
10	子どもは基本的な生活習慣が身についてきている	91.3	6.5	2.2
11	子どもは、善悪の判断力、社会的なルール等が身についてきている	87.0	13.0	0.0
12	子どもは学校で安全や危機に対応する力がついてきている	84.8	15.2	0.0
13	子どもは課題を乗り越えようとする力がついてきている	89.1	10.9	0.0

【本年度の取組の成果】

質問項目(10)「子どもは基本的な生活習慣が身につけてきている」(肯定評価 91.3%)は、昨年度よりやや増加しています。児童の情報交換を定期的に行ったり、ノーメディアチャレンジデーの取り組みを久居西中学校区推進協議会と連携しながら取り組んでいる成果であるといえます。

質問項目(8)「子どもは学校に楽しく通っている」(肯定的評価 91.3%)については、保護者・地域の方に、授業参観・懇談会、運動会、人権集会など、学校に来ていただける機会が多くあり、子どもたちの生き生きとした姿を見ていただいています。今後も地域に開かれた学校づくりを進めていきたいと考えています。



質問項目(13)「子どもは課題を乗り越えようとする力がついてきている」(肯定評価 89.1%)の肯定評価は昨年度よりかなり増加しました。本校の特色であるたてわり班活動を児童会行事や学校行事など、教育活動の中で有効に活用していることの成果と考えますが、さらに、児童にさまざまな活動の機会を与えることで、コミュニケーション力や課題解決力を図っていききたいと思います。

質問項目(3)「子どもは地域のことをよく学習している」(肯定評価 89.1%)は昨年よりやや減少しましたが、低学年は校区探検・地域学習を、高学年は地区学習会をしっかりと充実させていきたいと思っています。また、『地域の子どもは地域で守る』という住民意識が高く、子どもたちの生活の基盤でもある家庭や地域で「あいさつ」「ことばづかい」「食生活」などの生活習慣や社会的ルールについて指導していただいているので、今後も、今まで以上に学校と地域家庭が一体となり、子どもたちの健全な育成に向けて取り組んでいきたいと思っています。



今後は、行事の見直し、授業時数をさらに確保するとともに、学力向上のための授業内容の充実や児童への支援体制についての改善を図りながら取り組んでいきたいと思っています。また、授業だけでなく、ばらっこタイムの工夫(英語活動の導入等)・家庭学習の時間の充実により自分で学ぶ習慣をつけ、学力の定着を図っていききたいと思います。

【次年度へ向けての改善方策】

質問項目(6)「保護者や地域の意見・要望が学校に伝わっている」(肯定評価 69.6%)、質問項目(2)「学校の教育方針や教育活動によくわかる」(肯定評価 73.9%)、質問項目(4)「家庭や地域において、必要な学校の情報がよくわかる」(肯定的評価 80.4%)は、昨年度より肯定的評価が減少しています。学校から情報、学校への情報とも伝わりにくいという方が少し増えています。今後、学校からの情報提供(安全対策を含む)、地域学習の取り組み、家庭訪問や連絡帳でのお知らせ、電話や対面で子どもたちの学校生活の様子を直接伝える機会を増やしていきたいと思っています。学校のホームページ、学校だより、各学年だよりも保護者や地域の人たちに関覧してもらったり、読んでもらえるような工夫をしていきたいと思っています。

質問項目(9)「子どもはいじめが起きないように互いのことを考えて生活している」(肯定評価 87.0%)については、昨年度に比べ肯定的な評価がやや減少しました。学級での仲間づくり、教育相談、日々の気になる児童の情報交換、児童への声かけを継続していきます。

今後は、人のことを大切に思えるような仲間づくりを進め、子どもたちが教職員等大人に悩みなどを気軽に話ができる環境をさらに整えていきたいと考えています。さらに、学校教育活動のあらゆる機会を通して、人権教育に取り組み、子どもたちの発表の機会としての人権集会の充実を図っていききたいと思います。保護者や地域のみなさまからのご意見を大切にしながら、今後さらに学校教育目標達成に向けて、様々な場面で教職員の情報共有等で共通理解を図り、学校・家庭・地域が一丸となって取り組みを進めていきたいと考えています。一年間、本校の教育活動に対してご理解・ご協力をいただき、ありがとうございました。

榊原小学校のホームページ

<http://ednet.res-edu.ed.jp/s-sakakibara/>